
「肥満が小児急性虫垂炎の手術時間および術後成績に与える影響」に関するお知らせ

このたび、当院で手術を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

以下のすべてに該当する方を対象とします。

- 2020年1月1日から2025年10月31日の期間に、埼玉医科大学病院 小児外科において急性虫垂炎と診断され、腹腔鏡補助下虫垂切除術を受けられた患者さん
※interval appendectomy（保存的治療後の待機的虫垂切除）および汎発性腹膜炎の症例は解析対象から除外します。

2. 研究の目的

小児急性虫垂炎に対する手術において、肥満の有無が手術時間や術後在院日数、術後合併症などの術後成績に与える影響を明らかにし、周術期管理や術前リスク評価の改善に役立てることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年5月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では新たな検体採取は行いません。主に診療録（カルテ）等に記載された以下の情報を用います。

- 背景情報：年齢、性別、身長、体重
- 肥満度（%）： $[(\text{実測体重} - \text{標準体重}) / \text{標準体重}] \times 100$
- 術前情報：白血球数、好中球比率（または好中球数）、CRP など
- 画像検査：超音波検査（US）・CT検査の実施有無
- 手術関連：手術時間、麻酔時間、術式
- 病型（重症度）：カタル性、蜂窩織炎性、壊疽性、穿孔

- 糞石の有無
- 術後経過：術後抗菌薬投与日数、経口開始日、術後在院日数
- 術後合併症：SSI（表層／深部・体腔）、腹腔内膿瘍、30日以内再入院など

※解析用データには、氏名・住所など個人を直接特定できる情報は含めません。

2. 試料・情報の取得方法

対象となる患者さんの診療録（カルテ）・手術記録・検査データ等から、研究に必要な項目を収集します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- 埼玉医科大学病院 小児外科 泊 卓志（研究責任者）
- 埼玉医科大学病院 小児外科 田中 裕次郎
- 埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介
- 埼玉医科大学病院 小児外科 関 千寿花
- 埼玉医科大学病院 小児外科 吉田 美奈

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】病院長篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 小児外科 泊 卓志

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1654（土日祝日を除く 8:30～17:30）

メールアドレス：ttomari@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：肥満が小児急性虫垂炎の手術時間および術後成績に与える影響

○研究責任者：埼玉医科大学病院 小児外科 泊 卓志